

特集対談

子育てと仕事の両立

～女性医師のよもやま話～

汐田総合病院には子育てをしながら働く女性医師が多数います。今回は汐田で日々お仕事に奮闘される5名の女性の先生方に、子育てと仕事の両立について赤裸々にお答えいただきました。日々の苦労話からお仕事・子育てのやりがい、学生時代のことまで様々な本音が語られています。

★本日の午後の診察は
小児発熱外来の予約がある為
14:30 から開始いたします
検査の結果により
順番が前後することがあります

実際に子育てをしながら働いていて、汐田総合病院の働きやすさはどうですか？

総合診療科 K 先生 (以下 総診 K) : 若い先生も多いので、サポートしてもらっています。

整形外科 K 先生 (以下 整形 K) : 出産後入職したことより、時短や週4日勤務などの条件面を最初から提示していた。そのため、上司・スタッフなどにも理解いただき、定時に帰れるよう協力してもらうことができおり働きやすい面はある。しかし、医師の人数が不足しているため、なかなか休みが取れないなどの問題点はある。

総合診療科 I 先生 (以下 総診 I) : 希望をきいてくれる。一人一人を大切にしてくれる。

小児科 T 先生 (以下 小児 T) : 学校の行事など、あらかじめ予定できるものへの参加は有休など取得しやすい。しかし、急な感染症の場合、国や学校から呼び出されても、常勤1人体制では休診となるので有休を申請しにくい。また、常勤・非常勤以外にその時のワークライフバランスで勤務形態を変更してくれる。

脳神経外科 H 先生 (以下 脳外 H) : とっても働きやすいです。第1子を出産してから配属となりました。大学の関連施設の中では、院内保育園が併設されているのも1歳以上や看護師の子に限るなど制限が多く、月齢が小さくても預けられる勤務先は数えるほどしかありませんでした。汐田に来たことで復職できました。今は小学校の送り出しと保育園送りをすると8時半に間に合わないで、9時-17時半の勤務に変えていただき、ありがたいです。

病院や職場からの支援 (育休・産休・お子さんの体調不良時・その他) コロナ禍ではどうでしたか？

総診 K : 長く一緒にやっている仲間なので、カバーしていただいています。

整形 K : 産休・育休への理解は良く、取得に問題はなかった。しかし、子供の病気などの際は、科の医師の人数が少ないことや職種上変わりがきかないことも多く、休みを取るには容易ではない。病児シッターを利用していたが、その費用などは自費にてまかなっており、非常に負担であった。

総診 I : コロナ禍のため、少しの体調不良でも保育園を休ませなければならなかった。

小児 T : とくに変化なし。

脳外 H : 第2子と第3子は汐田に来てからの出産でしたが、産休・育休が保障されていることがとてもありがたかったです。子供の発熱時、呼ばれた当日は相談してなるべく早く帰らせていただきます。夫が休めれば家で見てもらいますが、どちらも休めない場合は食事や水分がとれて機嫌が良ければ病児保育に預けています。汐田から車で15分圏内に病児保育も3カ所あり、病児保育に預けられることで、外来や手術など、休めない業務には支障をきたさないよう頑張ってきました。

第3子はコロナ禍での産休・育休をいただきました。保育園の休園期間など、預け先がないなかでのやりくりは、働くパパ、ママ皆が大変なことだったと思います。

在学中などにもご自身のライフプラン・キャリアプランは考えていましたか？

総診 K : 全く考えていません。

整形 K : 具体的に意識することはなかった。

総診 I : 漠然と内科をやりたいと考えていましたが、特に考えていませんでした。

小児 T : 両立させたいと考えていたが、身近に経験者がおらず、具体的なイメージがわかなかった。

脳外 H : 当時考えていたプランとはまったく違う人生を歩んでいるように思います。

医師特有の子育てにおける問題点や逆にいいところ。男性 (医師) の育児について。

総診 K : 小児科の先生に相談できるところ。

整形 K : ほかの業種とあまり違いはないのではないかとどうしても抜けられない仕事があり、学校行事に参加できなかったり、病気の時でも1人家に置いて出勤したりするなど大変な面もあるが、それはどの職種においても言える。

良いところもあまりないが、病気や怪我をある程度自分で診察できるため、病院に行く機会が少ないことぐらいでしょうか？

男性医師は以前より子育てに参加しやすくなっていると思います。参加するかどうかは個人の自由ですが。

総診 I : 男性でも育児をしているのに、そう見られず、今までと同じ働き方を求められる。医療知識があるので慌てずに済む。

小児 T : 長所は病気の時に職場の先生 (プロ) に相談しやすい。問題点は一緒に過ごす時間が短くて完全には普段の子の様子を把握できない。



小児科 T 先生



小児 T：両立大変。睡眠不足。家族旅行時の思い出などは楽しい。

脳外 H：毎日子供たちの笑顔を見られて楽しいです。やりたい放題の子供たちですが、楽しそうに遊んでいるときやしょっちゅう笑い転がっている姿が見られると幸せそうであつたな～と思います。

⑥ 汐田総合病院には子育て中の医師がたくさんいるかと思いますが、普段どんなことを話されていますか？

総診 K：習い事、薬や予防接種のこと、夕方のごはんの準備のことなど。

整形 K：日々のたわいのない子供の話。子育ての情報交換。

総診 I：子供の体調や子供の成長（できるようになったこと）

小児 T：先輩ママの話が聞けるのは参考になる。保育園、小学校などの子供の進級、進学時の心構え、用意した方がいいものへのアドバイスなど。

脳外 H：日々の子育ての悩み（夜のオムツをはずさせてくれないとか、偏食で困っているとか）を先輩の先生方に相談できますし、また、数年先の様子をすごく現実的に教えていただけるので、気持ちだけは準備しておこうとか、勉強になります。



脳外 H：どこの科も医師が足りているわけではなく、子供の体調不良時に急遽休みをとる際に大変なご迷惑をおかけしているところが申し訳なく思っています。いいところは、小児科研修を経ており、新生児と触れ合う機会があったり、予防接種外来を経験したりしています。わが子を初めて見る赤ちゃんというわけではないのが良かったと思います。あとは当直で寝られない夜もあるので、赤ちゃんが生まれたあと、連日の当直のような生活にもめげないメンタルが養われます。

⑤ 子育ての楽しいことつらいこと。面白エピソード。

総診 K：つらいことは子供に藪医者と言われてしまうところ。でも小さいのに頑張っている姿に胸を打たれます。

整形 K：特に子供の小さい頃のことは忙しすぎて記憶にありません (^_^)

日々成長を感じられるのは楽しみですが、子供が大きくなってくると寂しさや不安も大きくなります。手がからなくなる分、違う面で大変さが増すので、なかなか暇にはなりません。面白エピソードはいろいろあったはずですが、記憶障害で覚えておりません (^_^)

総診 I：ちょっとした子供の発言や行動で大笑いで楽しく過ごせる。家が明るくなった。

どんな職場であれば働きやすいですか。その必要条件は？（子育て等において汐田総合病院で改善してほしい点や希望も含む）

総診 K：子育て期間でなくてもチームで患者を受けもつなど。

整形 K：まずはどの職場でも人数が多いこと。業務分担ができたり、グループやペアを組めるようになれば休みなども取りやすくなる。また、休みを取らないでシッターなどを利用した際は、その分補填してほしい。それが難しいなら病児保育室の開設を検討してほしい。

さらにコメディカルに平等であること。今は病院の保育室を看護師と医師しか利用できないが、事務職員やリハビリ職員なども使用できるようにするべきである。職種による福利厚生への差は不満を生み、離職につながる。子育てをしてない方が不満とならないよう、そちら側からの意見や提案も耳を傾ける必要がある。お互いの理解と歩み寄りが大切。介護の問題もあるため、みんながお互い様と思えるようになってほしい。

総診 I：チーム制の整備。事務さんがいろんなこと（医師がやらないといけないことも）をやってくれるので助かっています。

小児 T：①病児保育②1時間毎の時間有給の取得。特に②については、例えば午後13時から保護者会だと、午前12時ごろに病院を出ないと間に合わないの、午前は働けるのに1日全休となる。

脳外 H：院内保育園の継続を是非お願いしたいです。第1子の場合、ゼロ歳児、1歳児の保育園枠がなかなか大変なので、その月齢の子供たちを預けられること、また、とても信頼できるベテランの保育士さんたちなので、今後も残してほしいです。

⑧ その他（どんなことでも）

総診 I：タスクシフトがすすむといいです。学会がリモートになったのでとても助かっています。

脳外 H：介護や育児だけでなく、プライベートでも様々な制限のある中で働く先生方が多いと思います。義母の病気の時には育児と介護のダブルケアを経験し、いかに時間と人手をやりくりするか、パズルの組み合わせを探すような日々でした。症状が重くなっていき大変な時も、

脳神経外科 H 先生



一緒に働く先生方の理解をいただき、少し早く帰らせてもらえたり、配慮にとっても助けられました。今後子供たちも大きくなっていくので、少しずつ出勤できる幅を増やしていけたらと思います。

さいごに

今回の聞き取りでは、汐田の先生方それぞれの子育て・介護・働き方事情が見えてきました。

汐田総合病院や医師だけの問題ではなく、どの職場・職種においても全国的に女性の働き方については改善すべき点がたくさんあります。

自身のライフステージにおいて、男女関係なく、誰しもが仕事から一度は離れなければならない期間があるはず。そんな時に、キャリアの中断やお金の心配なく、気持ちよく休めるような職場、そして気兼ねなく復職できる社会の仕組みが整備されていこう、声を上げていきましょう。



研修医の1日を追う

研修医の日常とは…?

今回の「研修医の1日を追う」は、川崎協同病院で小児科研修中の平原賢治先生に密着しました。市中の中小規模病院での小児科研修はいかなるものなのか、その一端でもお伝えできればと思います。

7:50 出勤

朝は日によって出勤時間が異なりますが、1番早い日はこれくらいになります。私はバスで10分のところに住んでいるので、7:00に起床して用意をすれば間に合うようになっています。

8:00 朝勉強会

研修医達と朝勉強会を行っています。火曜日是指導医の先生による英語論文の概説、水曜日・木曜日は若手の上級医の先生が参考書を用いて症例検討を行ってくれます。金曜日は消化器内科・外科の合同カンファレンスに参加します。英語論文を読むのは大学受験以来のことで、特有の英単語などはその都度調べながら読解していますが、中々興味深い記事も多く勉強になります。症例検討については、救急外来に来院した患者を想定して行い、意識障害・胸痛・腹痛などよくある症状から動物に噛まれた際の対応など普段あまりないけど知っておきたい知識などを教えて下さるのでとても身になります。また、同期



川崎協同病院 研修医
平原 賢治
2022年 日本医科大学卒

や2年目の先輩方の発言、知識量などに驚いたり刺激されることも多くとても有意義な時間です。消化器内科・外科のカンファレンスは、実際の手術で取り出した臓器などを触らせてもらったり、症例について上級医の先生が分かりやすいように説明して下さるので自然と興味が湧いてくるカンファレンスとなっています。

8:45 朝会

毎日出勤した日には参加する、いわゆる病院内のカンファレンスみたいなものです。当日の会議の予定・当直の割り振りの確認・救急外来から入院された方の隔離解除について相談します。隔離解除の相談の際は、入院を指示した場合、診断名・既往・救急外来までの経過・検査結果について発表することになっており、最初は緊張することもありましたが、最近は少しずつ慣れてきたかなという印象です。私はぶっつけ本番で話すことが得意ではないので、前日退勤する前や入院させた後にキーワードをピックアップして何を言えば良いか決めてから臨むようにしています。

9:00 小児科外来

当院の小児科は、午前中に発熱患者や風邪症状の患者が多く来院します。発熱がある場合には隔離室での対応となり、研修医はあまり触れる機会はありません。しかし、熱がない子供に関しては上の先生の外来について見学させて頂いたり、場合によっては研修医が診察をさせてもらうこともあります。成人とは違い、子供は症状が悪化するスピードも速く、また治るまでのスピードも速いので、その場での診察がとても重要になり、場合によってはその場で入院決定することもあります。しかし、成人のように血液検査やX線・CTなどの画像検査の負



担が大きいので、子供の活気・保護者からの問診・身体診察などのウェイトが大きくなります。聞き出すために問診する能力も必要ですし、子供や親への雰囲気作りも重要になります。そのために小児科の壁に白雪姫のイラストがあったり、聴診器にジャムおじさんの指人形がついていたりなどの細やかな配慮がされています。

12:00 昼食

患者さんを治すためには医療者自身が健康でなければならぬので食事は大切です。先生の中には毎日配達されるお弁当を買ったり、自宅で作ったお弁当を持参する人もいますが、研修医は入院患者さんが食べている昼食を実際に食べて感想や評価をする検査制度があり、週1回割り振られた曜日に食べています。私は入院した経験がないので病院食を食べる機会は今までになかったのですが、思ったより食べやすいという印象でした。今は感染対策により黙食が徹底されているため、食後に研修医や上級医の先生とお話しをしたり休憩をとっています。

13:30 抄読会

小児科の先生方と一緒に、自分で選んだ小児科にまつわる英語論文を読み、内容を発表しています。勿論、論文内には図表やグラフなどが盛り込まれているので、読解が難しく感じますが、普段の勤務で英語論文を読む機会は限られているので、読解の練習をする良い機会だと思っています。今まで急性胃腸炎、LGBT、虐待などの社会的問題についての記事など読みましたが、特に社会的問題については自分で読んでアンテナを貼りながら診療を行わないと気づけないことも多くあり、様々な方面に関心を向ける重要性を感じさせられます。



小児科編



14:00 小児科外来

月曜・火曜午後は乳幼児健診、水曜午後はワクチン接種など日によって主な業務が異なります。私はちょうどシーズンが被っていたこともあり、インフルエンザワクチン接種を100回以上施行する機会がありました。3.4ヶ月健診の子供はまだ人見知りもせずウトウトしていることも多いですが、7ヶ月健診になると診察室で大きな声で泣くことも多かったです。時期により様々な表情を見せる子供に魅了されています。1歳未満の健診は医師が子供の身体を他動的に動かしたり触ったりすることが多いですが、5歳になると幼稚園や保育園に通っている子も多くなり、健診内容も子供主体で動いてもらうことになります。例えばケンケンした後にピタッと片手で止まってもらうなど、大人がやると中々出来なかったりすることもあります。それも評価するポイントの1つとなっています。また保護者も健診を楽しみにしていたり、逆に日々の不安を訴えてくれることもあるので、気持ちを受け止め解決策を共に探していくことも重要となります。ワクチン接種に関しては研修医が接種を担当することが多いですが、子供が嫌がって泣くことも多いです。動いて危ない思いをしないように押さえつける側にまわることもありますが、それはそれで研修医として良い経験になっていると感じています。

17:30~18:00 退勤

基本的に協同病院の研修医は17:00で勤務終了となりますが、日によっては19:00以降になることもあります。退勤後は自炊のための買い物をしに行ったり、疲れている日はお惣菜だけ買って帰ることもあります。帰宅後は疲れて寝てしまうこともありますが、出来る限りお風呂に入ってリフレッシュをするようにしています。

入院中から退院後まで個々に適切な食事を — 管理栄養士

管理栄養士の仕事とは

病院・学校・保育園・事業所等で、一定数の食事提供を行っている施設では、管理栄養士による栄養管理と献立作成が求められます。

それぞれの規模や特徴にあわせた必要栄養量を設定し、これを満たす献立の作成とおいしく食べられる工夫、給食提供に関わる事務、調理工程の衛生管理も担っています。

病院では、入院時に医師をはじめ、多職種が連携し入院診療計画書⁽¹⁾を作成します。さらに管理栄養士は栄養管理計画書⁽²⁾を作成し、患者さんに必要な栄養療法が良好に実施されるようにしています。

また、退院後の食生活などに役立ててもらえるように、患者さんへの栄養指導を実施しています。これは、例えば糖尿病などの慢性的な疾患に対する必要な食事のコントロールや、嚥下状態にあわせた調理の工夫を行います。患者さん本人やご家族と相談しながら自宅でも引き続き適切な食事療養を継続いただけることが目的です。

具体的な仕事内容

当院の病床は267床ですが、新型コロナウイルス感染症に対応するため、現在は220床程度を稼働させて

います。入院患者さんのうち、経口摂取の方が約160人、経管栄養は10～20人、静脈栄養管理は、約40～50人いらっしゃいます。

管理栄養士は入院後、速やかに患者さんの元へ伺い、食事内容やアレルギーについて聞き取りを行います。特にアレルギーがある方へは、誤って口にすることの無いように、情報の把握と食事提供時の工夫には特に留意しています。

栄養療法に必要なアセスメントを進めていくだけではなく、嗜好やご自宅での状況なども伺って、その方の生活背景を理解するように努めています。治療経過のなかで、病状が変化していきますので、定期的にモニタリングを行い、患者さんひとりひとりにあわせた栄養療法を実施しています。

食事提供に際しては、1日3回、決まった時間に、確実に配膳できるように、調理師と連携しながら、時間にあわせた作業が求められます。また、疾病や嚥下状態に合わせた食事が、間違いなく患者さんへ届けられるように、電子カルテと給食管理ソフトを使いながら日々工夫しています。

医療生協の病院⁽³⁾ならではの仕事として、地域の組合員さんにむけての疾病予防、健康づくりの活動があります。医療生協組合員⁽⁴⁾さんは、数人単位の班を構成しており、定期的に班会を開催しています。管理栄養士

が班会に参加し、組合員さんのお宅で参加者が持ち寄った味噌汁の塩分チェックをしたり、日ごろ疑問に思っているテーマ（夏バテ予防、骨粗鬆症の予防など）に沿って、管理栄養士が講師となって講演を行うこともあります。いつも元気で前向きな組合員さんから、私たちが学ぶことが多くあります。

仕事をとおして良かったと思えること

患者さん、ご家族は、病気のことや、治療の継続にあたりどのように食事を工夫していけばよいのかなど、不安に思っていることが多いと感じています。栄養指導をとおして相談をしていくなかで、「食事のことを聞けて良かった」と言って安心してくださるときは、話す機会を持つことができ良かったと思います。

また入院中の栄養療法は、個々にあわせた内容を提供する必要がありますが、これをいかに円滑に提供できるかということも併せて考えています。どのようにしたらより良くできるのか、協力しながら改善がすすむことで患者さんへまた一つ貢献できることがうれしいです。

医師とのかかわり

病院で提供される食事・栄養療法は、医師の指示によりその内容が設定されています。管理栄養士は指示内容を確認し、栄養介入を継続するなかで必要な事柄を、医師と相談しながら調整しています。患者さんのことや治療でわからないことがあるときには、当院の医師はすぐに相談にのってくれるので、とても助かっています。食思不振で食事が摂れなくなっていく患者さんは、食べていただくための工夫にも限界があり、日々体力が消耗していくことを考えると、代替の栄養ルートを検討する必要があります。経管栄養の導入をするのか、経口摂取を少量だとしても続けながら経管栄養で主な栄養を摂っていくのかなど、管理栄養士から医師へ提案をすることがあります。こうした場合、患者さん本人やご家族の考え方を大切にしつつ、医師がインフォームドコンセントを行います。

川崎医療生活協同組合
川崎協同病院
栄養科 科長
佐藤 弓扇子



医学生へのメッセージ

治療を進める中で、ご家族のなかには経管栄養の導入など、初めての状況に直面し戸惑うことが多々あります。インフォームドコンセントの場面においては、患者さんやご家族のナラティブ⁽⁵⁾に寄り添い、丁寧な説明が求められると思います。

また、学業に忙しい日々と想像しますが、皆さんの日頃の食生活はいかがでしょうか。

医師に限らないことかもしれませんが、患者さんと向き合う際には、自身が元気であることが大切だと思います。しっかり食べてよく睡眠をとり、体力気力を整えることをお勧めします。

ふだんの食事をとおして、食事や栄養に深く興味を持っていただけると嬉しいです。

注 釈

- 1…入院患者全員に対して主病名・治療計画・検査予定・推定入院期間などをまとめた文書。医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフ・管理栄養士など多職種協同で作成される。
- 2…入院時の栄養状態の評価、栄養管理上の課題、それらに基づき栄養管理の計画を記載した文書。医師・看護師・管理栄養士などの共同で策定される。
- 3…医療生協は、地域の住民や病院・診療所を利用する患者さんが医療生協に加入し出資することで、事業所を共同管理する自治的組織のこと。経済状況に関わらず地域住民がかかれる病院・診療所が必要とされ、地域住民の出資のもと現在の川崎協同病院に至る。
- 4…医療生協組合員…医療生協の加入者。健康づくりを目的に、サークル活動や勉強会、健康相談など様々な活動に取り組んでいる。川崎医療生協は約4万人の組合員数を有する。(2022年11月時点)
- 5 ナラティブ…英語では「物語」「語り」などの意味をもつ。医療現場では患者の経験や思い、心情などを医療従事者が聞き、患者の視点で受け止めることで、両者での信頼関係を築き、良質な医療を提供することを意味して使う。



BreakTime

シリーズ：海外奨学生レポート

ウクライナ vol.3 UKRAINE



海外奨学生の宮下隼也さんに、現地ウクライナのドニプロ医科大学での様子をレポートしていただき、これまで3回に分けて紹介して参りましたが、今回は最終回となります。

Dnipro

2023年2月現在、ロシア侵攻によりウクライナは依然として危険レベル4（外務省勧告）となっております。著者は現在、順天堂大学医学部（東京）で、特別聴講生として在籍して医学生臨床実習に取り組んでおります。

Dnipro Medical Institute

ドニプロ医科大学のご紹介

宮下 隼也（医学部4年）

大学のカリキュラム

日本の大学と同じように1～3年次には自然科学、人間科学、社会医学、基礎医学、外国語（ロシア語、戦後の現在はウクライナ語）を学びます。近隣諸国の欧州の大学との違いは、臨床実習時間の多さ、つまり時間数に表れていると感じておりました。また、旧ソ連衛星諸国に特徴的な軍事分野の医療の発展も特徴の一つであったと思います。解剖学に関しては、2年次前期ですべてを履修し終え、2年次後期からは早期臨床実習として臨床解剖学へと移ります。このように臨床医学をより早期の段階から取り入れることで、病態の評価などの実践的知識を低学年次から獲得することができました。現在においても、オンラインでの遠隔教育を通じて、3年次からは基礎医学に加えて、内科、外科、小児科や放射線科等の臨床医学系科目を学ぶカリキュラムとなっており、日本の医学教育と比較しても遜色のない内容となっております。

本来であれば、現在4年次学生として、現地の大学病院や関連病院などで、臨床医学の最も基礎となる患者への接し方、診察の記載、さらに実際の診察法、外科基本手技、また、主要症候に関する鑑別診断の方法を学んでいるはずでしたが、ロシアからの侵略戦争により、こうした教育の機会を奪われてしまい大変残念に感じております。前述のとおり、戦前では臨床実習時間に係る総数が約5400時間程（※ウクライナ国家認証のカリキュラム上）と量的な面で非常に充実していたのは事実です。

Year	Subject	Hours	Credits
一年次	Mathematics	120	4
	Medical physics	120	4
	Medical and biological physics	120	4
	Medical chemistry	120	4
	Biological Chemistry and human physiology	120	4
	Human anatomy	120	4
	Human embryology and cytology	120	4
	Human histology	120	4
	Human anatomy (practical)	120	4
	Human anatomy (theory)	120	4
二年次	Medical physiology	120	4
	Medical biochemistry	120	4
	Medical microbiology and immunology	120	4
	Medical parasitology and helminthology	120	4
	Medical bacteriology and virology	120	4
	Medical immunology	120	4
	Medical microbiology (practical)	120	4
	Medical microbiology (theory)	120	4
	Medical immunology (practical)	120	4
	Medical immunology (theory)	120	4
三年次	Medical pathology	120	4
	Medical microbiology and immunology	120	4
	Medical parasitology and helminthology	120	4
	Medical bacteriology and virology	120	4
	Medical immunology	120	4
	Medical microbiology (practical)	120	4
	Medical microbiology (theory)	120	4
	Medical immunology (practical)	120	4
	Medical immunology (theory)	120	4
	Medical pathology (practical)	120	4

また、Dnipro Medical Institute のカリキュラムの特徴として、プライベート・スクールであるがゆえに、大学運営においては、欧州最大の医学系留学エージェンシー：MedlinkStudents Ltd.（本社 イギリス）が全面的にバックアップ支援している点にあります。こうした企業からの全面的な資本提携とサポートにより、学生は国家試験対策講座や各種臨床医学に関する科目を相互参加型オンライン講義で受講出来ておりました。昨年度は、Nottingham や Cambridge 大学メディカル・スクール教授陣からのいくつもの講義を受講できており、同国内の他の国立大学と比較すると考えられないようなサポートを受けることが出来ております。



Dnipro の街の中心を流れるドニエプル川からの夕焼け（写真 2021 年）

ウクライナの医師国家試験制度について

ウクライナの医師国家試験制度は、米国の試験制度と全く同じ形式となっております。三年次の終了時に Krok1（米国 USMLE Step1：基礎医学に関する9科目から構成）。そして、医学部卒業時に Krok2（米国 USMLE Step2：臨床医学に関する科目から構成）があります。そのため、戦前における近年において、ウクライナの医学部教育への魅力から、特に米国をはじめとした南米諸国からの留学生が急増しておりました。

尚、Krok（クロック）とは、現地のウクライナ語で Step（段階）を意味する言葉です。

戦前の現地での実際の生活について、当地での写真と共に、少しでも皆様にウクライナの雰囲気を感じ取って

いただけましたら幸いです。

以下はすべてドニプロでの思い出の写真となります。

ウクライナの当地で、数少ない在留邦人（学生）として、非常に充実した時間を過ごすことができたのは、奨学生として経済的な負担が軽減されたことで、学生の本業である勉強に専念できたことに他なりません。欧州の厳しい進級要件のなか、ときにはウクライナの大自然の中でストレスを発散させ、何とかストレートで進級して行くことができました。現在に至るまで、さまざまな局面においてご支援くださっております神奈川民医連のスタッフの皆様に対して、この場をお借りして心より感謝申し上げます。



読者の広場

26号より新コーナーがはじまりました。とても忙しい先生方、どんなふうに時間を楽しんでいるのか、ホットできる Break Time の瞬間を取材していきます！

前号の感想

・なぜ総診を選んだのかが、参考になりました。私はまだ診療科を決めてなく、色々な診療科の先生からお話を聞いて実習に行く中で決めたいと思ってるのでその参考になりました！また、川崎協同病院の研修の様子がわかったのもすごく良かったです！（K大Yさん）



・病院見学でお世話になったことのある山本さんのインタビューを見て良かったです。大学病院での診断がメインの総合診療科と、医師が少ない地方のなんでもやさんの総合診療科があると思っておりますが、あまりよくわかっていなかったのが良かったです。（Y大Yさん）

アンケートに答えて 図書券をもらおう！

今回も皆さんからのご意見をお待ちしています！
右の QR コードからアンケートに是非お答えください。
回答いただいた **医学生の方全員**に、
図書券 1,000 円分を進呈します！
（個人情報の取り扱いについては下記参照）



- 個人情報の収集について
収集する個人情報の範囲は、収集の目的を達成するための必要最低限とし、取り扱いにあたっては、個人情報保護に関する関係法令、およびその他の規範を遵守します。
- 個人情報の管理・保護について
収集した個人情報については、適切な管理を行い、紛失・破壊・改ざん・漏洩などの防止に努めます。取得した個人情報について、ご本人の同意なく開示することはありません。
- 病院実習・各種企画のご案内について
今後、病院実習や各種企画の郵送をさせて頂く場合があります。受け取りを希望されない場合は、お手数ですがアンケートハガキにその旨を記入して投函、または神奈川民医連医学生担当までご一報下さい。

What's みんないれん?

民主医療機関連合会

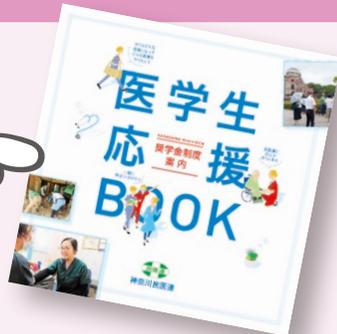
『みんないれん』は、無差別平等の医療・介護・福祉の実現と、平和な社会の実現をめざして活動する医療・介護系機関の連合体で、全国に141の病院と581の診療所など、全国に1810の事業所が加盟しています。神奈川民医連は、生協法人や公益財団法人など10法人からなり、基幹型臨床研修病院である川崎協同病院や汐田総合病院など、民医連綱領に賛同する90の事業所が加盟しています。わたしたちは、医師を目指す医学生のみなさんと一緒により良い医療をつくるために、学生時代からの学びと交流を大切に考え、学習企画やフィールドワーク、地域医療実習などに積極的に取り組んでいます。地元大学や全国の仲間とともに学生時代をよりアツク、充実したものにしてみませんか!?

奨学生募集

神奈川民医連では、奨学金による経済的なサポートに加え、わたしたちの医療活動を通して地域医療を学び、将来神奈川民医連で医療・研修を考える医学生を対象に奨学金制度を設けています。

対象：医学部1年から6年生
(年度途中からでも応募できます。)
貸与額：月80,000円
神奈川民医連に就業すれば返済が免除される制度があります。

詳しくは
医学生応援BOOKを
チェック!



病院実習・見学大募集!

神奈川民医連では病院見学や実習を希望する学生さんを1年生から受け付けています。『早く現場実習したい!』『医師だけでなく他職種の経験をしたい!』など、皆さんのご要望に応じて、調整します。

研修医大募集!

神奈川民医連は地域医療に関心のある研修医を大募集しています。『将来はジェネラリストになりたい。』『初期研修は市中病院で。』そんなあなたは是非、一度病院見学にお越し下さい。研修パンフレットはこちら



病院見学・実習、
資料請求のお申し込みや
お問い合わせはこちらまで



神奈川県民主医療機関連合会

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-35-1 第2米林ビル5F
TEL: 045-320-6371 FAX: 045-320-6374
E-mail: igakusei@kanamin.or.jp

COMING DOCTOR 31 SPRING

COMING DOCTOR

医学生と神奈川民医連をむすぶ情報誌 カミングドクター 第31号

特集対談
子育てと仕事の両立
女性医師のよもやま話



好評連載
研修医の一日
川崎協同病院 研修医 平原 賢治

31
SPRING

<http://www.kanamin.or.jp>
神奈川県民主医療機関連合会

カミングドクター(「前途有望な医師」の意) 第三十号(春号) 令和五年三月発行
発行：神奈川県民主医療機関連合会・神奈川県医療事業協同組合